



# せいひ会だより

2011年(平成23年)  
3月1日発行  
<第131号>  
社会福祉法人せいひ会  
<http://www.seihikai.jp/>



年末の大雪から始まった寒波で、すっかり体調を崩された方も多かったのではないでしょうか？  
ようやく春が感じられる今日この頃、まだまだ安心できず、今度はインフルエンザの流行が周辺の学校で聞かれています。

そんな気持ちを払拭するかのような、青空と梅の花が目に止まりました。「もうすぐ春ですね」  
そんな会話が聞こえてきそうです。

## 2月の行事

- 1日 寿限無オーブン
- 1日 豆まき(元亀の里)
- 2日・16日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 3日 節分の行事(通所・丘の家・GH・風和の里)
- 12日 誕生会(元亀・通所)
- 25日 通報訓練(風和の里)



## 3月の行事予定

- 3日 ひな祭り(各事業所)
- 2日・16日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 12日 誕生会(元亀・通所)
- 14日 陶芸教室(通所・丘の家)
- 20日 歌の発表会(風和の里)
- 下旬 お花見バスハイク(各事業所)



☆2月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



今回は元亀の里・森川 ヨシエ様にお話を伺いました。

昭和2年、琴海町尾戸に6人兄弟の長女として産まれる。両親は農業を営み、芋・麦・米・スイカや野菜などを栽培していた。長女ということで、幼い頃から畠に付いて行き手伝いをしていました。『子供の頃は妹達と遊びたけど、家の手伝いばかりで遊ばれんやった』そうで、当時はそれが当たり前だと思っていたとのこと。手伝いの中では、学校から帰ってからの水汲みが一番きつかったそうだ。『大きくなってからは牛でスキバ引いて畠も耕したね、大人しか牛でよう言うことば聞いてくれた』と話されていた。

高等科の後青年学校を卒業し、家に戻り農業の手伝いをすることになる。19歳で養子をとり結婚し、一緒に農業を営むことになる。その後6人の子供に恵まれた。

昭和20年後半には、国の政策でミカンの栽培が推進されミカン畠を増やしていった。ミカンを中心に農業を続け、次男が後を継いでくれた。しかし「平成になってからミカンが増えたけど、今度はミカンの木ば切れって言われて減らさんばで、今は畠も荒れてしまふた」とあきれられていた。『近頃は体のいうこときかんごとなって、自分でできることの減ってきた』「ずっと農業ばっかいしてきたけど身体の無理したとやろう」と身体を気にされている。

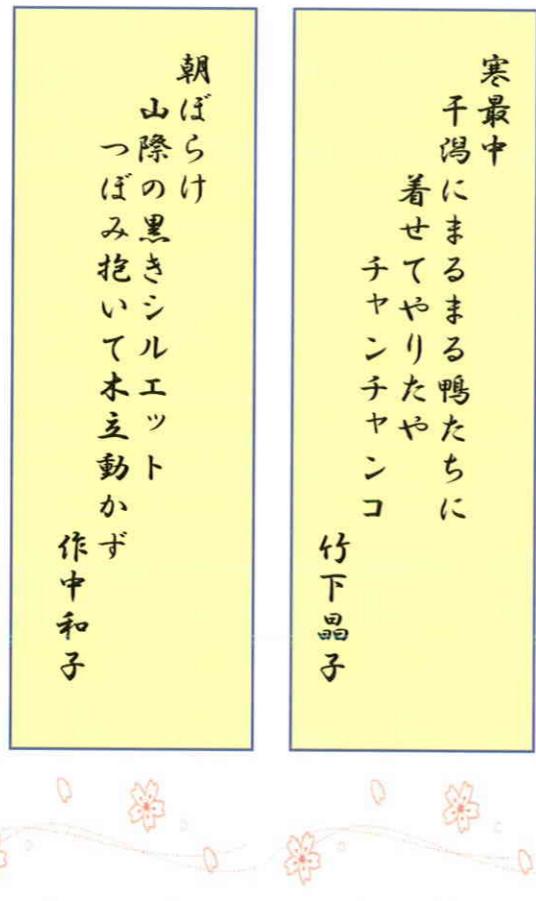
最近の楽しみは「少しずつ動けるごとなりたかことと、子供達の来てくれるところが楽しみ」とのこと。ただ「次男坊には後ば継いでもうたけど苦労させたね、それが後悔」と話されていた。また、「時代の変わっていくとの早過ぎて、ついて行くとのやっと」「国も農業政策なんかきちっとしてもらいたいか」と、国の政策に疑問を投げかけられていた。

これからもリハビリに励んでください。誕生日おめでとうございます。

リ意一  
テ味V  
イがi  
のあ  
力にま  
あす。t  
れせy  
てい一  
いひま  
すを、  
。利生  
そ用命  
のさ  
活れ  
活動  
を皆  
紹さ  
介ん  
する  
活・  
コ動元  
一に氣  
ナは・  
で持続  
バカ  
。イ等  
タの

## Vitality Space バイタリティースペース

### うたの時間



2月に特別養護老人ホーム「寿限無」がオープンしました。新しい施設での生活が始まっていることもあり、職員も利用者も毎日が新鮮です。季節もちょうど卒業シーズン真っ只中で、新しい年度に向けてあわただしい時期でもありますね。

そんな中もう一つのサービスがいよいよ4月から始まります。その名も、小規模多機能「じゅげむ」・・・「いつまでも住み慣れた自宅や地域で暮らし続けたい」という願いを可能なかぎり叶えられるようなサービスを提供する機能があります。どうぞ期待ください。



小規模多機能：じゅげむ  
長崎市琴海村松町704番地3  
095-884-0080 担当：川添

### 面会時の手洗い（手指消毒）、マスク着用についてのお願い

インフルエンザやノロウイルスといった感染症の予防のために手洗い（手指消毒）やマスク着用のご協力ををお願いいたします。施設では手指消毒とマスクを設置しておりますのでご利用ください。また、体調がすぐれない方のご面会はご遠慮ください。



### 面会時の食品の持ち込みについてのお願い

- 食品を持参された際は職員にお知らせ下さい。
- 残った食品はお持ち帰りください。
- 他の利用者や職員への“おすそわけ”は、ご遠慮ください。



### グループホーム



## 豆まき特集

グループホームでの豆まきは、ご覧のような地元の口上を年女の方に読んでいただくと同時に勢いよく豆がまかれました。夕方には福の神のお札とともに地元の子供たちが豆まきに訪れました。  
「鬼は～外！福は～内！」今も昔も願いは同じです。

### 元亀の里



### 風和の里



通所

職員は意外に役者がそろっており、なかでも毎年節分になると、必ず「鬼」を演じる職員はご覧のようになります。おかげで利用者の皆さんには大爆笑。おおいに盛り上がりいました。



### 風和の里



## 通報訓練



2月25日（金）通報訓練を行いました。自動通報装置を使用し実際に119番通報を行ななど、非常時の対応を訓練しました。

### 通所



## 誕生会



毎月行われている誕生会。2月の誕生会もカラオケや「雪合戦ゲーム」で盛り上がりました。

### ケアマネ 敏美 の独り言

### <自分を成長させてくれる宝物>

高齢者福祉に携わり早や20数年が過ぎました。本当に多くの高齢者と関わりを持たせていただき、いろんな「人生」や「死」を目の当たりにしてきました。特老にも勤めさせていただいたこともあります。お亡くなりになった方を「居室」から「靈安室」まで両腕で抱えてお運びさせていただいたこともしばしば・・・。まだ温かく、しかしビックリするほど軽かったのを思い出します。また、人生の大先輩達と接していく中で「やんちゃ坊主」が、立派とは言えませんがいい大人（いいオヤジ）になったと思います。（感謝！感謝です！！）今の制度下の中で以前のように密着した関わり方は難しくなってきてるのは事実ですが、なんとか「心と心のヒダ」での付き合いは続けていきたいと思います。これからもたくさんの「高齢者の皆さん」いや「人生の大先輩達」との出会いを重ねていき、自身を成長させたいと思った今月でした。

